

平成 22 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 大興電子通信株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 高橋 正道  
 (コード番号 8023)  
 問 合 せ 先 執行役員 管理本部副本部長 荻田 修  
 (TEL 03-3266-8111)

### 通期業績予想の修正および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表しました通期連結業績予想および通期個別業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

|                             | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|-----------------|
|                             | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 円 銭             |
| 前回発表予想(A)                   | 36,000 | 1,038  | 1,053  | 825    | 66.24           |
| 今回発表予想(B)                   | 32,400 | △1,024 | △1,051 | △1,537 | △128.49         |
| 増減額(B－A)                    | △3,600 | △2,062 | △2,104 | △2,362 | —               |
| 増減率(%)                      | △10.0  | —      | —      | —      | —               |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 21 年 3 月期) | 39,009 | △108   | △127   | △563   | △45.25          |

#### 2. 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

|                             | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|-----------------|
|                             | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 円 銭             |
| 前回発表予想(A)                   | 35,500 | 888    | 857    | 704    | 56.52           |
| 今回発表予想(B)                   | 31,400 | △1,179 | △1,206 | △1,595 | △128.15         |
| 増減額(B－A)                    | △4,100 | △2,067 | △2,063 | △2,299 | —               |
| 増減率(%)                      | △11.5  | —      | —      | —      | —               |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 21 年 3 月期) | 38,616 | △159   | △199   | △612   | △49.20          |

#### 3. 修正の理由

##### (1) 通期連結業績

主に個別業績の修正を事由としたものであります。

##### (2) 通期個別業績

第 2 四半期まで低調であった金融・証券分野を第 3 四半期においてカバーすべく、付加価値の高い特化ビジネスへの集中や、多様化する顧客ニーズに対応した提案を促進するビジネスイノベーションセンターの活動による補強をはかりました。しかしながら、中堅中小企業の投資の抑制と先送りが継続していることから、売上高につきましては 314 億円となる見込であります。

利益面につきましては、減収による売上総利益の減少および利益率の低下に加え、SI 不採算プロジェクトおよび将来の損失可能性を見積評価したことによる仕掛品評価損失 5 億 39 百万円の計上にともない、営業利益は 11 億 79 百万円、経常利益は 12 億 6 百万円のいずれも損失となる見込です。また、当期の業績を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に見直した結果、当第 3 四半期決算において繰延税金資産を取崩したことにより、3 億 50 百万円を法人税等調整額として計上した結果、当期純利益につきましては 15 億 95 百万円の損失となる見込です。

4. 当期の業績を踏まえて

当期の業績を踏まえ、新たな経営改善策を労働組合に申し入れており、確定次第発表させていただきます。

※上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

以 上